

2022年2月10日

各位

会社名 株式会社 ペルセウスプロテオミクス  
代表者名 代表取締役社長 執行役員 横川 拓哉  
(コード番号:4882 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役執行役員 管理部長 鈴川 信一  
(TEL. 03-5738-1705)

血中 Pentraxin 3 の迅速計測キット開発に向けた  
湧永製薬株式会社との共同研究契約締結に関するお知らせ

当社は、このたび湧永製薬株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長 湧永寛仁、以下「湧永製薬社」と)、血中の Pentraxin 3 (PTX3)濃度を簡易に定量・定性する製品の開発に係る共同研究契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

1. 契約締結の経緯及び契約の概要

当社は2008年より、培養上清やヒト血漿に含まれる PTX 3 濃度を定量する研究用途の ELISA キット『Human Pentraxin3 / TSG-14 ELISA System』を、研究者や研究機関へ提供しております。血管障害や心疾患など炎症に関する疾患において、血中の PTX 3 濃度が健常時と比べて高いことが知られており、炎症に関わる疾患や COVID-19 等の感染症における重篤化を予測するバイオマーカーとして注目されております。

湧永製薬社は、xMAP Technology を用いた骨髄バンクの登録検査用試薬である『WAKFlow HLA タイピング試薬』や、急性心筋梗塞の診断を目的とする体外診断用医薬品『ラピチェック H-FABP』などの開発を手掛けており、試薬・診断事業で多大な実績を有しております。

本共同研究は、当社が所有する抗ヒト PTX3 抗体及び PTX3 に関する知見と、湧永製薬社で培われた検出技術を活用し、ELISA キットよりも高精度で、検査が簡便な PTX3 定量化試薬や PTX3 の検出機器の製品化を目的としております。将来的には敗血症などのさまざまな心血管疾患の予後を予見する体外診断用医薬品の展開を予定しており、患者さんの予後を診断可能にすることで、早期に適切な治療法を患者さんへ提供するとともに、医師の負担軽減に貢献できるものと考えております。

2. 今後の見通し

本件による2022年3月期業績への影響はございません。

■PTX3 について

PTX 3 は、白血球や血管内皮細胞に存在し、炎症部位で局所的に分泌されるタンパク質として知られています。また、感染症の初期に血中の PTX3 が増加してウイルスなどの病原体と結合し、オプソニン化して働くことから、自然免疫における可溶性のパターン認識受容体として位置づけられています。



CRP や SAP に比べ、炎症初期に血中で上昇することが報告されており、早期に炎症の進行を予測するマーカーとしての活用が期待されています。

■湧永製薬株式会社について

湧永製薬社は、1955 年の創業以来、ロングセラー商品の『キョーレオピン』シリーズをはじめとした医薬品や健康補助食品の開発・製造・販売を手掛けてきました。独自のバイオ技術を応用した試薬・診断薬の開発や、医療用医薬品候補物質を生み出す創薬技術を活かした、優れた製品の開発により、社会貢献を目指す企業です。湧永製薬社の詳細は、以下ホームページをご覧ください。

[湧永製薬株式会社のホームページ](#)

以 上